

みどりの風



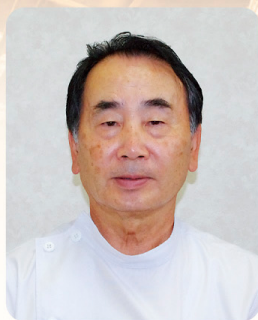
医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jp.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/>

編集責任者：理事長 中村 猛
編集：季刊誌発行委員会

第34号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さん、こんにちは
さしもの猛烈な暑さも去り、さわやかな青空に黄金色に染まった稲穂が頭を垂れ、実りの秋がやってまいりました。

周知の通り7年後の2020年日本に東京オリンピック開催が決まり、

政治の安定化、経済の景気上昇傾向

とともに明るい光が射し込んでまいりました。是非とも我々庶民の暮らしが良くなるように、又、東日本大震災の皆さんにも復興支援が順調に進みますように祈りたいものです。

私は最近、社会奉仕団体の役職がまわってきて、様々な業種の方々と会合する機会が増えました。

従って懇談、懇親会でのスピーチが必要となり、生来口べたな私にとって苦痛ですらあったのですが、出来るだけ自然体でありのままの自分を開放してしゃべっています。

聴衆者が楽しく元気の出るような話をと欲張らず、ありていの自分であるよう努力しています。お蔭で年齢のせいもあるのですが、パーティでの酒の量は随分減りました。

しかし、今まで口ごもったり、話をするのに躊躇していたことが、大分、なめらかに伝達できるようになりました。

しかし余り考えないで、直感で話し、相手に迷惑をかけたり、不快感を与えないように、又、軸のぶれない、バランスのとれた内容で会話を楽しむには、憧れと夢をもった生涯の果てしなき努力が必要と思っています。

先日は、その役職の例会訪問で和歌山の紀伊半島先端にある串本町に行っていました。

地元の歓迎を受け、潮岬を案内され、その中にトルコ軍艦が難破し串本の人々が命をかけて救助した際の記念碑を参拝し、潮岬のはるか水平線の大海原を眺めながら、その後にトルコ国と串本町が固い友好関係に結ばれている話を感銘をもって伺いました。

ふっと、研修医の頃、土佐の高知の桂浜で背後の坂本竜馬像とともに太平洋を眺めた頃をタイムトンネルをくぐって思い出しました。

さあ、スポーツの秋、芸術文化の秋、食欲の秋、夏の疲れを吹っ飛ばし、心と体の充電に頑張ってみます。



地域密着型特別養護老人ホーム 地鎮祭

法人本部 総務部 課長 岡崎 基

（仮称）サテライトいこいの里新築工事は施工業者も決まり、8月1日をもって無事に着工致しました。開発工事でも本格的に始まり、近隣住民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら進んでいます。

また、建築工事の無事を祈り工事関係者、地権者を交え百済王神社にて地鎮祭を行いました。私たちも神社の本殿で地鎮祭を行うのは初めての経験でしたが、厳かな雰囲気の中無事に終えることが出来ました。今後は、施設運営を検討しながら、施設開設が滞りなく進むように努めて参ります。

9月より入居相談、申込みを開始いたしました。入居希望の方は下記までご相談下さい。

【お問合せ先】特別養護老人ホームいこいの里

☎ 072-898-2197 担当：山本・伊藤・浅川



診療科の紹介

院長 高橋 輝

中村病院は旧中村記念病院と統合し、平成24年12月に206床の新しい中村病院として新築移転しました。新病院スタートとともに、常勤医師を増員し各診療科の充実を図っておりますので、その一部をご紹介します。

整形外科

浅田医師を中心に関西医大との連携により人工関節にも対応できる高度な手術を実施しています。

消化器外科・肛門外科

金川医師と林医師の2名の常勤医を増員し、腹部外科手術を実施しています。肛門外科については、専門医しかできない痔核治療などを導入し、専門的な診療を実施しております。

糖尿病内科

桑村医師の着任により、2名の糖尿病専門医が常勤として勤務しております。

泌尿器科

関西医大より木下准教授、増田医師、福井医師、山本医師をお迎えして、月曜日午前診、木曜日夜診、土曜日午前診に専門外来を開設しています。



診療室前

救急医療懇話会を開催

事務部長 田村 正博

中村病院 4 階会議室において、去る 8 月20日(火)午後6時から枚方寝屋川消防組合・交野市消防本部・八幡市消防本部の職員の皆様の出席をいただき「第二回医療法人みどり会中村病院救急医療懇話会」を開催いたしました。

中村病院は、地域に貢献できる病院を目指し、第二次救急病院としての役割を果たすべく努力を続けております。その一つとして「救急医療懇話会」を開催しております。

今回は、当院の浅田整形外科医長による救急症例の報告を中心とした講演、事務部より本院の救急医療の実情報告を行いました。また、救急隊の皆様からのご意見・ご要望等をい

ただきながら交流を進め、実のある懇話会となりました。

本懇話会は「救急救命士に対する再教育ガイドライン」に関する「教育プログラム学術集会」として承認を受けました。

今後におきましても年2回程度の開催を予定しております。



多くの実習生が学んでいます。

中村病院では、毎年多くの実習生を受け入れております。

実習生の皆様は、卒業後に、それぞれの分野での活躍を目指し、現場で実習に励んでいます。はつらつと目を輝かし、諸先輩の動きを真剣に見つめながら実習に取り組んでいる姿は、私ども職員にとっても初心に戻るよい機会ともなり、新鮮さを覚え、職場の活性化にもつながっているのではと考えます。

今年度に入ってから、薬剤部3名、リハビリテーション部27名、医事課4名、相談室3名の実習生を受け入れております。今後も多くの実習生を迎えるためには実習生の皆様から良い評価をいただける病院を築くことが必要であり、そのためにも患者様を中心とした質の高い信頼される医療を目指してまいります。(記：田村)

研修中の実習生達



薬剤部



リハビリ部



医事課



相談室

なごみの里 ～接遇UP宣言～

接遇委員会委員長 高杉孝博

最近の人気ドラマ・半沢直樹では、「倍返し」という言葉が大変流行しているようですが、その他にも様々な言葉が出てまいります。その中の一つ「企業は人である」という言葉。まさに介護や医療こそが人によって支えられている産業と言えます。接遇は形だけの儀礼であってではなく、人を大切に思う心を形で表す深い営みである事を改めて考えさせられました。

さて、なごみの里では、「施設を利用される全ての皆様に対し、誠意と思いやりの心を持って支援させていただく」ことをモットーとしております。しかしながら、忙しさ等を理由に全ての職員が常にそういった心を形に表せているとは思っておりません。その為、私たちは改めて皆様と向き合う心掛けを中心に、当施設が今まで培ってきた接遇を一層発展させ、安心してご利用いただくことを目的に「なごみの里接遇UP宣言」という行動計画に取り組むことに致しました。具体的には、「笑顔で挨拶を交わすこと」「丁寧な言葉で会話をすること」「皆様のペースに合わせた対応をすること」が主な内容です。又、この取り組みでは、職員個々人の努力と

接遇力に頼るのではなく、組織を挙げて取り組むべきテーマであることから、各部署より取り組みを推進する委員が配置されており、ご利用者だけでなく来設者の皆様にも分かり易いよう、各委員の制服には四葉のクローバーワッペンを装着し自覚を高めております。これからは皆様に満足して頂けるサービスを目指し、接遇向上に努めて参りますので、お気づきの点がございましたら、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



「四葉のクローバー」の
ワッペンを
装着しております！

みどり保育所の日

みどり保育所も6年目になります。現在は0歳児から3歳児までの異年齢のお子様をお預かりしています。みどり保育所の1日をご紹介します。

日によって子供の人数は異なりますが、毎日4名以上のお子様が来られています。天気やお子様の様子を見て、散歩か室内での遊びかを決め、朝のおやつを食べてから遊びます。散歩の場合、近くに4ヵ所程公園があり、季節を感じながら散歩を楽しんでいます。室内では制作をしたり、ごっこ遊びやブロックなどのおもちゃで遊びます。その後お弁当を食べ、お昼寝をし午後のおやつを食べ、遊びながらお迎えを待ちます。以上が1日の流れになります。

来られた当初は、砂場の段差を一人で乗り越えることができなかった子供さんが、今ではひとりで砂場から出られるようになりました。

先日、雨の後、川沿いを散歩していると、河原や川の中にたくさんのカメがいました。子供達は大喜びで「カメカメカメ…!」「カメさ〜ん」と言いながら手をたたいてカメを呼んでいました。小規模の良さを生かし、家庭的な雰囲気の中一人ひとりに合った対応でお客様の成長を見守らせて頂いております。

(記：みどり保育所 保育士一同)



在宅支援

7年後のその日まで・・・

高齢者サポートセンターみどり 所長 山本久美子

最近の一番のニュースと言え、7年後の東京オリンピックの開催が決定した事ではないだろうか？ 大きな震災を忘れた訳ではないが、久しぶりに多くの人の笑顔に触れたニュースであった。さて、7年後・・・私自身もいくつになるのかを考えると喜んでばかりもいられない。そして、今ご支援している高齢者の方々は何歳になり、どこでこの大会を観るのだろう。

この秋から、包括みどりの新しい取り組み「健康づくり

住み慣れた町で」と銘打った健康教室が事務所隣の会議室を使ってスタートする。職員の広報活動と駅前の立地条件の良さもあり、定員がほぼ埋まっている。皆さん健康でこの町に住み続けたいと思って下さっている。そのお気持ちに応えたいと、準備を進める職員の思いも熱い。この秋、包括みどりは「健康の秋」一色である。



グループホーム たんぽぽ藤阪

管理者 竹之内 真 一

まだ、グループホームという施設を知らない方もおられると思いますが、認知症グループホームとは、認知症の方が小規模な生活の場で少人数（5人から9人）での共同住居の形態で、食事の支度や、洗濯などをスタッフが利用者とともに共同で行い、スタッフ、利用者とが馴染みの関係を築き、家庭的な落ち着いた雰囲気の中で生活を送ることにより、認知症状の進行を穏やかにするという事を目的とした施設です。たんぽぽ藤阪では、「一人ひとりと笑顔で向き合い 思いを大切に」と

事業所理念を掲げ、職員一丸となり、利用者様のご支援をさせて頂いています。



敬老の日 —104歳、今も元気です—

たんぽぽ田口 管理者 中 島 亜矢子



横尾様は、毎日、朝5時に起きられ、洗濯物を畳み、新聞を読むことから1日が始まります。

10時のティータイムの後には、居室で歌を歌われ、体操や足踏みなど身体を維持することにも努めておられます。夕方には洗濯物を干すなど、ご自分の中で日課があり、それを毎日きちんとこなしておられます。

自分で出来る事は、何でもご自分でされるだけでなく、周りの方への気配りは素晴らしく、何事にも感謝の気持ちを持っておられ、周りの入居者様や職員にいつも「有り難うございます」と丁寧に挨拶して下さいます。

横尾様と共に時間を過ごすことができ、私たち職員はとても幸せだと感じています。

充実した新人研修プログラム

なごみの里 研修委員会

なごみの里では新入(中途)職員研修として、前期と後期に分け計画的なプログラムを1年にわたり受講して頂きます。

入職後の約2週間は「職員としての心構え」や「介護の基礎知識」等を中心に毎日の研修プログラムが予定され、その後は月1～2回のペースで内外講師による介護現場に必要な研修を学びます。後期になると「チームワークの構築」や「コミュニケーション能力の構築」そして「取り組みを通じたサービス向上」という3つのテーマを基本に、自分たちの配属先で取組みたい内容をグループワークにて検討し、年度終了後に「新人研修発表会」を行っています。

また今回、一連の活動が認められ、両法人全体での「業績・社会貢献等団体グループ表彰」理事長賞を頂きました。今後も施設全体の向上を目指し日々努力して参ります。



各施設連絡先

社会福祉法人 松 樹 会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
 デイサービスセンター いこいの里
 グループホーム たんぽぽ田口 072-898-2193
 居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
 つくしんぼ長尾 072-868-2190
 デイサービスセンター 長尾
 有償運送事業(福祉タクシー) 072-868-2190
 つくしんぼ 藤阪 072-868-2191
 たんぽぽ 藤阪 072-868-2197

医療法人 み どり 会

中 村 病 院 072-868-2071
 中村記念クリニック 072-868-2070
 な ご み の 里 072-868-2072
 ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
 サテライトなごみの里 072-818-2071
 デイサービス長尾の里
 グループホーム たんぽぽ長尾 072-868-2195
 訪問看護ステーション 072-868-2071
 訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
 高齢者サポートセンター みどり 072-845-2002
 み どり 保 育 所 072-850-7550

—— 編集後記 ——

今年の夏は連日猛暑が続いておりましたが、ここに来てやっと朝夕が涼しく秋らしくなってきました。一昨年来から続いていたジム&ブルートレーニングもこの暑さで3か月程小休止していましたが、スポーツの秋を機に再開しようと思って先日一連のプログラムを行ったところ身体がついて行かず体力の低下が露呈しました、あまり無理せずに年齢に合わせてぼつぼつ続けられればと思っています。

第34号みどりの風(秋号)では来年度4月開設予定の地域密着型特別養護老人ホームの進捗状況、病院診療科目のご紹介、病院実習に来ていただいた方々のご紹介、年間通じての施設新人研修の取組み、敬老の日等を掲載させて頂いておりますので御一読戴ければと思っています。

みどりの風発行委員会

連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松 田